

7月の予定		
1	月	【プール開き】 リズム
2	火	E.E
3	水	音楽
4	木	やきそばクッキング (たいよう組)
5	金	6・7月生誕生会 七夕集会
6	土	
7	日	
8	月	YY・リズム
9	火	E.E
10	水	運動・音楽・茶道
11	木	
12	金	クッキー作り (たいよう組)
13	土	かのん祭り
14	日	
15	月	海の日
16	火	E.E
17	水	音楽
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	YY・リズム
23	火	E.E
24	水	運動・音楽
25	木	
26	金	お弁当の日→2歳児クラス 以上 お泊り保育→たいよう組
27	土	お泊り保育→たいよう組
28	日	
29	月	リズム
30	火	
31	水	茶道

8月の主な予定

13日(火)～17(土)

お盆特別保育

30日(金) 引き取り訓練

その他 避難訓練・身体測定

かのんだよい

2019年

7月号

梅雨の季節になりました。雨が降ったら少し肌寒く、晴れたと思ったら猛暑となる天気、小さい子どもたちにとっては体調も崩しやすい気候のようです。体調・熱中症にはしっかり気を付けて保育をしていきたいと思います。

夏休み海や山など遠方に出かける方もたくさんいると思います。事故やけがのないよう、お子さまからは目を離さず、楽しい思い出をいっぱいつくってきてくださいね！

◆夏季保育日程表ご提出のお願い(再掲) 締切7月12日(金)

夏の予定を作る時期になりました。7月・8月の出席予定をお知らせ下さい。お手数おかけして申し訳ございませんが、夏季中の出席予定人数を把握することで、保育士・職員の夏季休暇及び研修日程を計画させていただくことが目的です。

別紙「夏季保育日程表」に調整可能な日(お休み・時短)をご記入の上、ご提出ください。お父様、お母様どちらかがお休みの場合はできるだけ家庭保育のご協力をさせていただけたら有り難いです。

また、8月13日(月)～17日(土)は特別保育です。**別途お申込みが必要**です(土曜日ご利用の方は土曜保育希望申請書も併せてご提出ください。)出席人数によっては合同保育になり、担任保育士も替わる事がありますのでご承知おきください。

※夏季の出欠予定については、提出日(7/12)以降もお休みの予定がわかりしだい、随時、連絡帳や事務室までお知らせください。

◆土曜保育について

- ・7月13日は、かのん祭りのため土曜保育はありません。
- ・7月27日は、たいよう組お泊り保育があります。土曜保育はありませんが、もしご調整可能であればご協力をお願いします。

◆土曜保育の申込みについて

土曜保育の申込みを週ごとに受け付けておりましたが、7月より月ごとの申請をお願いします。大変お手数ですが保育士・調理員の確保のためご協力をお願い致します。毎月締め切りは利用月の前月20日となります。

◆クラスからのお知らせ

【乳児クラス】

- ・持ち物、衣類の記名が薄くなっていることがあります。再度記名の確認をお願いします。
- ・お迎え時間に遅れる場合はかんたんメールまたは電話にてご連絡をお願いします。

【幼児クラス】

- ・汗をかいた時には着替えをします。ロッカーの衣類の補充をお願いします。下着も着替えますので下着の補充もお願いします。

※たいよう組

7・8月は休息をする為、バスタオルをご持参ください。

◆クラスだよりは7月8月合併号とし後日発行させていただきます。

育児講演会 三浦真保先生講演会「子育て、楽しんでいますか？～子育ては心育て～」より

6月の育児講演会には、三浦真保先生(社会福祉法人わかば そらのいえ保育園副園長、臨床心理士・小・中学校・高等学校スクールカウンセラー)が講師としてお話し下さいました。内容の一部をご紹介します。

～子育て、楽しんでいますか？～

子育てにイライラしてしまう理由、それは・・・

1. 子どもに、理想を求めているから。

どんな子どもが理想ですか？生まれた時は元気で健康であればいいと思っていただけれど、愛するがゆえにだんだん欲が出てきてしまいます。優しい子になってほしい、集中してコツコツ努力して勉強もできるようにしてほしい、スポーツができて…と次々に理想が出てきます。

個性は、長所短所が表裏一体です。小さい頃はどちらかに偏っていることがあります。年齢と共に大人になってくるとバランスが取れていきます。

2. 子どもを「きちんと育てなければ」、という強い責任感があるから。

例：教育熱心で、祖父母からの期待を背負い、私がちゃんと育てないといけないという責任感が強く、周りの目も気になる為、きちんとさせようとするができないとイライラする。

3. 子どもの言動を、被害的にとってしまうから。

例：ご飯を全然食べてくれない。私が作った料理が嫌なのかしら→実際は…お昼ご飯をたくさん食べたから今日はただお腹が空いていないだけかもしれない。

実際の子ども（乳幼児）は？

1. 「ぼくが」「私は」の世界に住んでいます。

乳幼児は自分の目線で生きています。まだ相手の目線は持っていません。

例：友達が使っている玩具を取ってしまう→大人は意地悪だと思うがそうではない。ただ自分が使いたかっただけ。相手が困る、嫌な気持ちになるなど、相手の目線は純粹にわからない。

取ったらどうなるか？という行動の先が見通せないということ。

例：虫に触る、洋服のまま雨の水たまりに入る。虫に触ると手が汚れる、水たまりに入ると洋服がぬれるという行動の先にあることはわからず、触りたい、入りたいだけで行動に出る。大人は「汚いから」、「汚れるから」が行動に移す前にわかる。親のように先に考えてやめようとしなのが乳幼児である。大人は先が見通せます。

○相手の目線、相手の思いはどのように学んでいくのか？

4歳頃から友達と一緒に遊ぶようになり、5歳頃になると次第に友達に譲ったり自分が我慢したりしなければいけないことも知っていき、それでも友達と一緒に遊ぶ方が楽しいなと感じるようになっていきます。

⇒他人の玩具を取ってしまうなど、一見、自己中心的に見える子どもの行動ですが、相手のことを考えられるようになるのはもう少し大きくなってからです。

2. 今を生きています。

⇒先の予測は難しく、体験し、失敗しながら学んでいく。

人の意見が聞けるようになるのも少し大きくなってから。

大人は先が見通せるから「こうした方がいい」と提案するが、子どもは今を生きているので、「ぼくはこうしたいんだ！」と主張する。これは、自主性が育まれている反応。3歳ぐらいの子どもは言葉や頭でしつけていくのはまだそぐいません。

例：保育園で先生に挨拶をしないで通り過ぎていこうとする子どもに、親は挨拶をさせようとする場合があります。「挨拶しなさい。」「なんで挨拶しないの。」と言いながら通り過ぎていく親子。子どもに挨拶させることに必死になる親。この時期の子どもは周りの行動を見て学んでいく時期です。挨拶はしなさいと言われてするのはではなく、気持ち良く挨拶するものであることを伝える意味でも、親が手本となり笑顔で穏やかに挨拶するのを見る機会をたくさんもつことが大事です。させる挨拶で形だけになるのではなく、相手に心をこめて挨拶することを手本となり、見せることで子どもに伝わる方がよいのです。

例：「ごめんねしなさい」と言っていないませんか？おもちゃの取り合い。3歳ぐらいになると友達が使った物を取らないことを覚えていく時期。「ごめんなさい」という事を習慣づけられた子どもは、とりあえず「ごめんね」と言います。強い口調で「ごめんね」と言うので、相手が「いいよ」って言うてくれないこともあります。すると「(謝ったのに)いいよって言うてくれない。」と大人に言いに来ます。でも、「ごめんね」「いいよ」は合言葉ではありません。言葉だけを言わせるものではなく、気持ちを伝える言葉になるように。